

東京大学放射光連携研究機構からのお知らせ

東京大学放射光連携研究機構長

尾 嶋 正 治

東京大学アウトステーション・物質科学ビームラインの
共同利用の開始について

東京大学では、平成18年に総長直轄の組織として放射光連携研究機構を開設し、既存施設の高輝度放射光を利用した先端的研究の展開を目指して、世界最高水準の軟X線アンジュレータと放射光利用実験設備を備えた東京大学アウトステーション・物質科学ビームラインをSPring-8に建設・整備して参りました。物質科学ビームラインの整備は、関係各方面のご協力を得て概ね予定どおりに進んでおり、本年秋以降、250 eV～2 keVの高輝度放射光を利用した物質科学研究がスタートできる予定です。物質科学ビームラインに設置される全ての実験設備は全国共同利用に供され、本機構の委託を受けて、共同利用に関する事務手続き等を東京大学物性研究所で行うこととなっております。

物質科学ビームラインでは、時間分解軟X線分光実験装置、生体物質軟X線発光分光実験装置及び3次元ナノビーム光電子解析装置の3つの実験設備とフリーポートの整備が現在進行中であり、多くの実験課題を行うことができる状態ではありませんが、次のとおり平成21年10月から、装置の共同開発やフリーポートでの実験も含め、共同利用実験課題を募集し、共同利用実験を開始する予定です。